

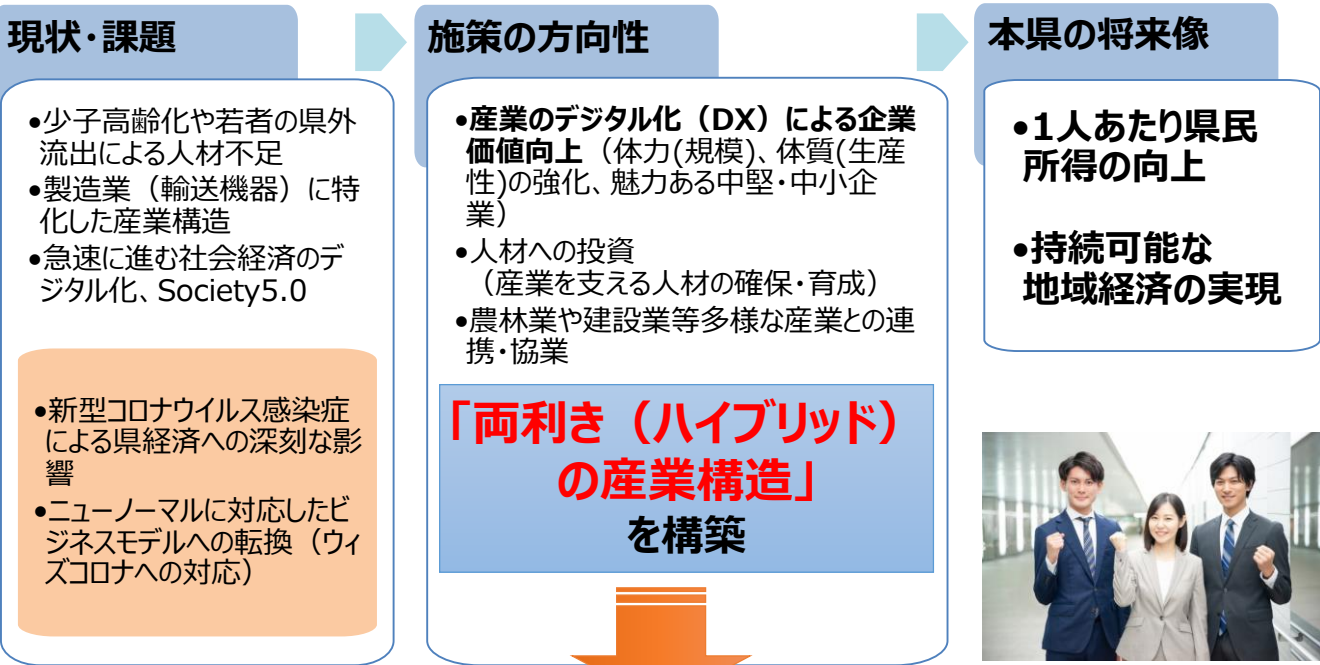
# 「両利き（ハイブリッド）の産業構造」を目指して

～群馬県産業振興基本計画（R3-5）の概要～



- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた**県経済を立て直すための足下対策**に取り組むとともに、新総合計画（ビジョン・基本計画）の開始に合わせ、「**10年後・20年後の本県経済の姿**」を見据えた施策に着手する。
- **既存産業の強み**を生かしながら、時代の変化に合わせ**新たな成長機会**を探求する。

## 1. 本県の将来像と施策の方向性 (計画P.2～7)



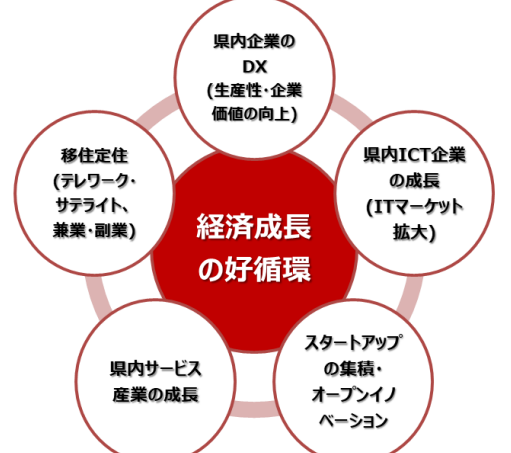
### ① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた既存産業の立て直し

○ 資金繰り等による**経営の下支え**とともに、**ウィズコロナ、ニューノーマル対応**を進めることで、新型コロナウイルス感染症の影響をいち早く払拭し、反転攻勢につなげる。



### ② 新たな成長機会の探求

○ **産業のデジタル化（DX）**など、社会経済の変革を新たなビジネスチャンスに変え、**多様な産業による厚みのある経済成長**を目指す。



## 2. 施策体系 (P.8～31)

### 基本方針Ⅰ DXの推進と新たなビジネスへの挑戦

- ・デジタル技術を活用した「稼ぐ力」の向上（高付加価値型産業への転換と集積促進）
- ・スタートアップ支援、オープンイノベーション推進
- ・ニューノーマル（非接触、分散化、ネットワーク化）、アート・デザイン指向のビジネスモデル構築



### 基本方針Ⅱ 様々なリスクや環境の変化に柔軟に対応できる産業の構築

- ・SDGsの推進・事業継続支援、レジリエンス強化
- ・ものづくり産業の強化・成長産業への事業領域拡大
- ・海外販路開拓・サプライチェーンの再構築
- ・サービス産業の高付加価値化
- ・県内ICT企業の成長支援



### 基本方針Ⅲ 群馬の新たな魅力を創造・発信

- ・ニューノーマルに対応した観光地づくり
- ・新しい価値や魅力を創造・発信
- ・ウィズコロナ時代の「変化」に柔軟に対応
- ・eスポーツ・コンテンツ産業等による新ビジネスの創出
- ・戦略的なMICE推進



### 基本方針Ⅳ 生き生きと働ける環境づくりと、将来の産業を担う自律型人材の育成・確保

- ・働き方改革の推進
- ・デジタル人材育成、リカレント教育推進
- ・雇用維持・再就職に向けた支援



## 3. 目標・目指す姿 (P.32～36)

	全体目標・目指す姿 (KPI)	現状値	目標値 (2023)
1	県内総生産（名目）	89,704億円	平成29（2017）年度 93,000億円 (+3.7%)
2	1人あたり県民所得	332万5千円	平成29（2017）年度 340万円 (+2.3%)
3	1人あたり賃金（年間・全業種計）	431万8千円	令和元（2019）年 450万円 (+4.2%)
4	1人あたり付加価値額（労働生産性）	885万4千円	平成29（2017）年度 918万円 (+3.7%)

※このほか、各基本方針に基づく取組の成果を図る指標を設定